

芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

留学者情報			
ウェブ等への体験談掲載への同意	☐ 氏名も掲載してよい ☐ 学部・学科まで掲載してよい ☒ 完全匿名での掲載を希望		

留学先情報			
渡航型/オンライン型	☒ 渡航型 ☐ オンライン型		
プログラムタイプ	☒ 授業履修型 ☐ 研究室配属型		
国・地域名	スウェーデン		
都市名	ストックホルム		
留学先大学名	スウェーデン王立工科大学		
留学期間	☐ 3ヶ月未満 ☒ 3ヶ月～半年（1セメスター程度） ☐ 半年～1年（2セメスター程度）		
プログラム期間	プログラム開始時期 （2021年9月上旬等）	2024年8月中旬	プログラム終了時期 （2021年9月上旬等）
留学時期 （主に留学をしていた時期にチェックをお願いします）	☐ 1年前期	☐ 修士1年前期	
	☐ 1年後期	☒ 修士1年後期	
	☐ 2年前期	☐ 修士2年前期	
	☐ 2年後期	☐ 修士2年後期	
	☐ 3年前期	☐ 博士以上	
	☐ 3年後期		
	☐ 4年前期		
	☐ 4年後期		
上記協定校を志願した理由を教えてください。	留学生が多い学校であることや、勉強したい分野の授業が開講されていたため。また、幸せの国として知られている北欧での暮らしに興味があったため。		
（研究室配属型のみご回答ください） 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。 （SIT指導教員の紹介等）			

留学中の学籍について	
休学の有無	☐ 休学をした ☒ 休学しなかった
休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 （留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取 り終えており、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等）	指導教員からの許可を得られたため。

留学先での学習・研究状況			
留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。	授業は講義のほか、プレゼン、実験室作業、演習、セミナーなどで構成されていました。1セメスターは2つのピリオドに分かれています。1つのピリオドで7.5単位を取得可能な授業は、週に3～4日授業が行われることが多く、そのため学習のスピードが速いと感じました。勉強場所としては、大学や地域にある自習室や図書館をよく利用しました。		
授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。（たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。）	科目名①	Advanced Organic Chemistry	単位数 （現地単位数）5 (7.5)
	科目概要	様々な合成方法、その原理や要因、グリーンケミストリーについてなどを学ぶことができます。座学、演習の授業、グループプレゼン、筆記試験で構成されています。また、任意の課題を提出することで、加点されるシステムでした。講義は全て対面で行われました。また、演習の時間は、問題を解きながら疑問点があればその場で先生に聞くことができました。	
	科目名②	Modern Organic Chemistry	単位数 （現地単位数）5 (7.5)
	科目概要	不斉合成や逆合成解析などについて学ぶことができます。Advanced Organic Chemistryで様々な反応を学んだ上で受講すると、より理解しやすい授業だと思います。座学、演習の授業、ラボまたはプレゼン、筆記試験で構成されています。講義は事前に録画されたものを視聴するため、好きな時間に受講することができました。また、実験室作業を行うか、選択したテーマについてグループプレゼンを行うか選択することができました。私は実験室作業を選びましたが、その場合は4つの実験テーマから興味があるものを1つ決めることができました。	
	科目名③	Swedish A1 for Engineers	単位数 （現地単位数）5 (7.5)
	科目概要	挨拶や自己紹介などスウェーデン語を基本から学ぶことができる授業です。私はオンラインで行われるものを選択しました。2週間に1度だけオンラインでセミナーがありましたが、基本的にはクイズや、動画の提出（自己紹介など）、最後にある口頭試験で評価されました。	
	科目名④	Swedish Society, Culture and Industry in Historical Perspective	単位数 （現地単位数）5 (7.5)
	科目概要	名前の通り、スウェーデンの歴史や産業などについて様々な視点から学ぶことができる授業です。講義、セミナー、遠足（博物館など）で構成されています。評価方法はセミナー参加前に指定された論文を読み、短いreflection paperを作成すること、セミナーや遠足への参加、オンラインテスト、最終エッセイの提出によって行われます。	
	科目名⑤		単位数 （現地単位数）
	科目概要		
	科目名⑥		単位数 （現地単位数）
	科目概要		

留学先での学習・研究以外の交流活動	
交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。	8月や9月にTHSが主催するイベントがたくさん開催され、それに参加しました。留学中、そこでできた友人と遊びに行くことや話す時間はとても癒しになったので、留学初期に様々なコミュニティに参加してみることをおすすめします。

自由記述欄	
留学で感じたこと等、自由に記載してください。 (当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)	休日には、学校のイベントで知り合った友人やルームメイトと一緒に出かけたり、1人で他の国へ旅行をしたりと、楽しく充実した日々を過ごすことができました。異なる国の人々はもちろん、一度社会人として働いていた方や子育てをしながら学んでいる方など、多様なバックグラウンドを持つ人々との出会いがありました。さらに、それぞれが明確な目標を持ち努力している姿に触れ、刺激を受け、私自身も前向きな気持ちになりました。また、心に余裕がある人が多いと感じ、「幸せの国」と呼ばれる理由を実感する場面が数多くありました。実際に生活してその日常に触れることで、幸せで豊かな生活を送るためのヒントを見つけることができた気がします。 留学期間は学業だけではなく、海外での生活や一人旅行でのトラブルを自分自身で解決しなければならないことも多く、慣れない環境で戸惑う場面もありました。一方で、新たな環境に身を置くことで自分の世界が広がり、成長を実感することができる時間でもありました。その全てを含めて留学をしてよかったと思います。

留学手続き時に苦労した点	
協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。（提出すべき書類、準備が大変だった書類など）	履修する授業の選択にとっても苦労しました。授業によって固定の曜日や時間が決められているわけではないために、授業同士がかぶってしまうことがあり難しかったです。ただ、渡航後に変更することも可能です。大体受けたい授業を絞って渡航し、実際に受講して履修を決定しても良いと思います。また、出願時に寮の希望を出すことができましたが、必ず寮が提供されるわけではないようです。そのため、SSSBに登録することやFacebookなどで情報を探す必要があるかもしれません。
ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。（提出すべき書類、準備が大変だった書類など） （渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）	居住許可の申請の流れは全てホームページに従って行いました。用意する資料の中で、英文残高証明書を発行するのに特に時間がかかりました（即日発行できる銀行もあるようです）。また、居住許可は申請の準備を始めて1ヶ月ほどで、日本にあるスウェーデン大使館から通知書が届きました。その通知書を持って渡航し、スウェーデンの移民庁で写真や指紋を登録しました。
その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。	春にスウェーデン大使館によるイベントがあり、そこで同じ時期にKTHに留学する人と交流できる機会がありました。

滞在先の宿泊施設などの情報 （渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）	
宿泊先のタイプを教えてください。（協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等）	大学が提供する寮
上記宿泊先はどうやって手配しましたか？（出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等）	出願時に寮を希望するか選択できました。ただ、寮を希望したとしても空きがない場合があり、私も渡航2ヶ月ほど前にKTHから自分で家を探すよう連絡がありました。探している途中、空きが出たのかKTHから寮の契約書がメールで送られてきました。
現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？ 交通手段や所要時間を教えてください。	空港からKTHまでは大学のバスで、そこから寮までは電車を使用しました。学校が指定するArrival Dayに到着したため、空港からKTHまでのシャトルバスを使用することができました。
上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。	電車で20～30分かけて通学をしました。
上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。	6人部屋でした。部屋はとても広く、リビング、キッチン、シャワー室が2つ、個室がありました。洗濯室は予約制で週に1回ほど使用できました。住み心地もよく、ルームメイトとは一緒に出かけたり、ご飯を食べたりとシェアルームならではの時間を過ごすことができました。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥0	
往復航空券代(往復)	¥280,000	
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥100,000	大学指定の海外旅行保険
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥0	居住許可申請のみ(無料)
計	¥380,000	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥90,000	6200SEK
食費/月	¥33,000	カフェも含む
その他/月	¥9,100	学割SLチケット3ヶ月分(1ヶ月およそ630SEK)
計	¥132,100	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥120,000	
計	¥120,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

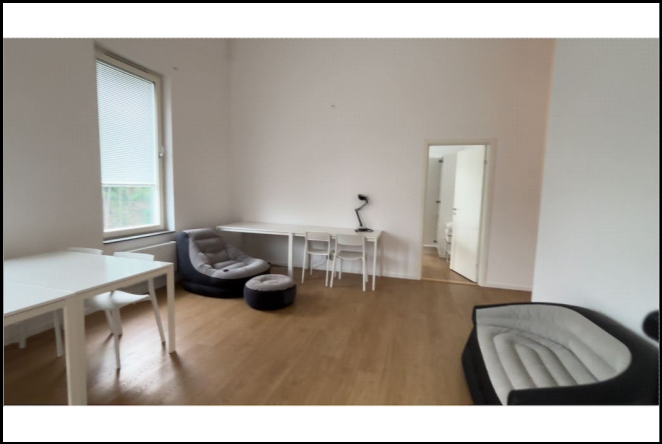
大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

暖かい時期はここでお昼ご飯を食べている人が
たくさんいました

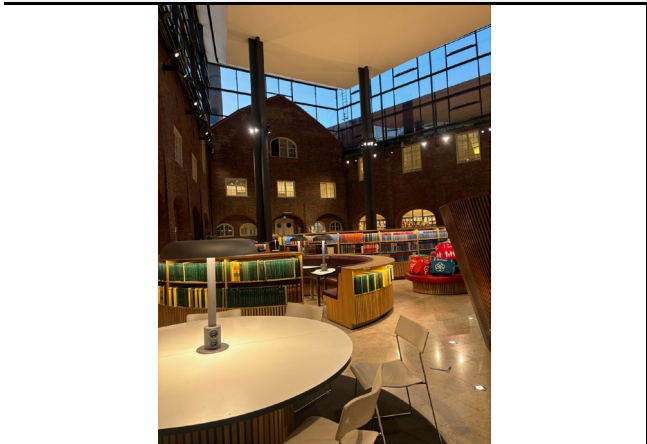
宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

留学生6人で生活していました
キャンパスまでは電車で30分ほどの場所です

その他、任意の写真



説明文

KTHの図書館

その他、任意の写真



説明文

Skinnarviksberget
ストックホルムを一望できます

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。